

## 各種グレードとその特徴

クロロプレンゴムはポリマー分子の規則性と塩素基の凝集力により、天然ゴムのような結晶性を示します。そのため低温雰囲気において結晶化により加硫物あるいはコンパウンドが硬くなります。

「スカイブレン」耐結晶性グレードは、分子の規則性を崩すことにより結晶化速度を低減しており、加硫物の低温における硬さ変化が小さい、低温永久歪みが優れる、コンパウンドが低温でも硬くなりにくいいため加工作業性が優れるなどの特徴があります。

「スカイブレン」加硫物の低温における硬さ変化を図1に示します。

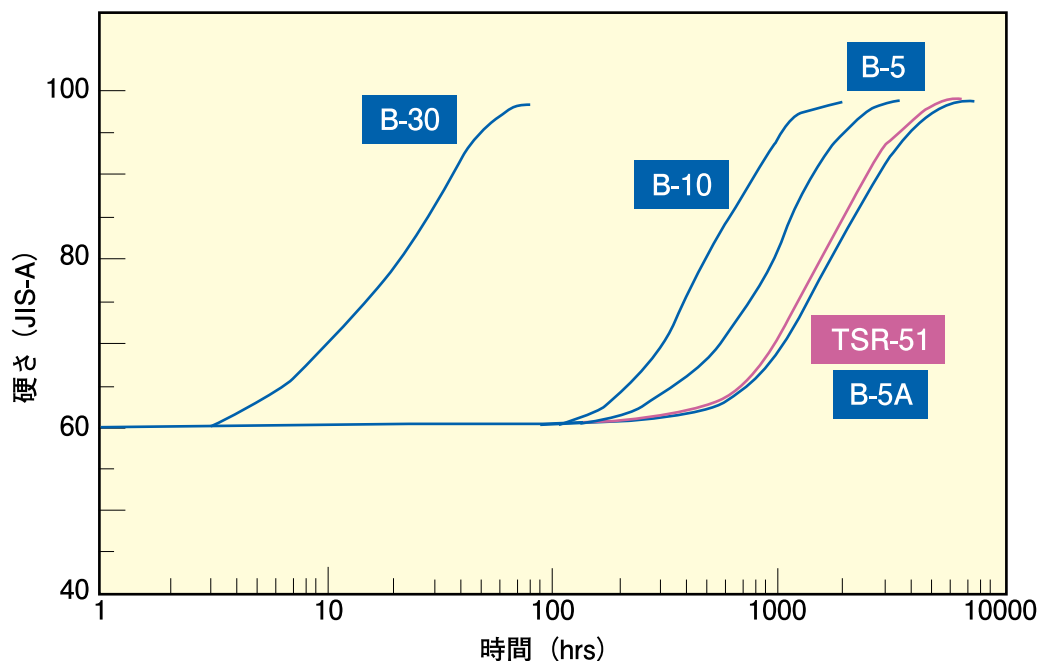


図1 スカイブレン各グレードの硬さ変化 (-10°C)  
標準評価配合：150°C × 20分加硫



# 各種グレードとその特徴

「スカイブレン」は使用する分子量調節剤により3タイプに分類されます。

- メルカプタン変性タイプ  
分子量調節剤としてメルカプタン化合物を使用するもの
- キサントゲン変性タイプ  
分子量調節剤としてキサントゲン酸化合物を使用するもの
- 硫黄変性タイプ  
分子量調節剤として硫黄を使用するもの

「スカイブレン」は、それぞれのタイプ別において、ムーニー粘度と結晶化速度によって図2のように区別され、用途に対して使い分けられています。

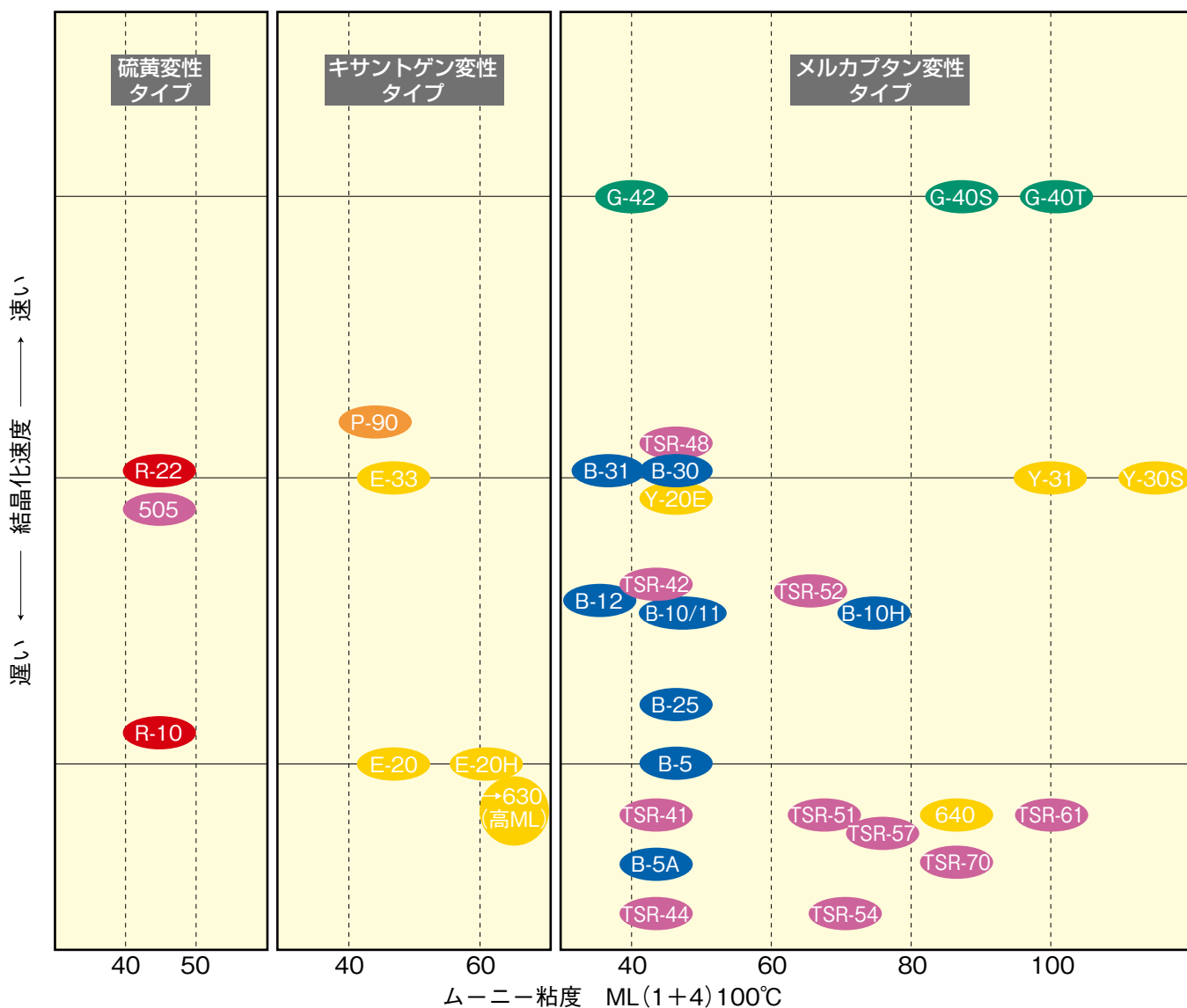


図2 各種グレードの位置付け